

令和2年度第1回香川県国民健康保険運営協議会 会議録

- 1 日時 令和2年9月11日（金）13：30～14：30
- 2 場所 香川県庁本館12階 第1・第2会議室
- 3 委員の出席状況
〔出席委員10名〕 松尾会長、名賀委員、藤井委員、久米川委員、豊嶋委員、木村委員、
田中委員、石川委員、小島委員、美馬委員
〔欠席委員1名〕 近藤委員
- 4 事務局出席者
健康福祉部：土岐部長、土草次長
医務国保課：尾崎課長、白石室長、岡野室長補佐、和田室長補佐、富田主任、的場主任
- 5 傍聴者 なし
- 6 議事内容

議題1 香川県国民健康保険事業特別会計決算について

事務局から、議題1について、説明を行った。

【主な意見、質疑等】

- （ 委 員 ） ・ 令和元年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で2月、3月と受診抑制が起こった影響はあるのか。
- （ 事 務 局 ） ・ 3月診療分から年度が変わることになっているが、令和元年度については新型コロナウイルス感染症の影響はないと考えている。

議題2 香川県内市町国保の運営状況

【主な意見、質疑等】

- （ 委 員 ） ・ 三木町で糖尿病や歯周病の受診率、実施率が前年度と比べて上がったり、慢性腎臓病では小豆島町や三木町で受診率が上がったりしているが、これは各市町で何か取組みをして上がったのか。
- （ 事 務 局 ） ・ 参考資料では2か年度の比較になっているが、歯周病の受診率の場合、28年度と比較すると上がっていない。29年度で下がって、また上がったことになっている。各市町でどういった取組みをしているかは確認できていない。
- （ 委 員 ） ・ 医療費が全国4位となっているが、全国よりも平均年齢が高くて70歳以上の加入者が多いから医療費が高くなっているのか、あるいは全国と同じレベルなのに、医療費がかかっているのかというのが分からない。もし比較ができるのであれば、年齢を全国平均とした場合の医療費を示していただければ参考になると思う。
- （ 事 務 局 ） ・ 資料の作り方についても、ご意見を踏まえ、わかりやすいものにしていきたいと思う。

議題3 県における今年度の取組み

【主な意見、質疑等】

- (委 員) ・ いわゆる受診抑制によって、慢性疾患が重症化するのではないかとこの心配がある。健診の受診率低下が見られ、慢性疾患の重症化に伴って、医療費がむしろ増加することも想定される。
今後、医療費総額のみならず、疾患ごとの医療費の増減や、新型コロナウイルス感染症による影響を分析し、予防の重要性を訴えていくべきではないかと考える。
- (事 務 局) ・ 慢性疾患に関しては、受診控えにより重症化し、症状が悪化することがあると思う。県としても、定期的な受診については、啓発をしていきたいと考えている。
また、疾患ごとの影響についても、今後、しっかりと分析をしながら、市町とも対応を検討していきたい。
- (委 員) ・ 収入が減るところで、今、業者によってはものすごく悲惨な状態にあり、失業すると国保に入ってくると思う。その影響も考えておかないといけない。保険料が足りなくなるということで、資料で基金について見せていただいたが、基金のない自治体が要注意と思っよいか。
- (事 務 局) ・ データがまだ追いついていないが、失業されて国保に入ってくる方について、今後、どういった状況になるのか、しっかり見ていながら、影響についていろいろと検討していかないといけない。
基金の保有額については、市町によって、持っているところと持っていないところが分かれている。財政運営は県で行い、保険給付費は全額みることとなっているが、収入が減るとなると、すぐに保険料を上げられるかという、なかなかそうはいかない。それを基金で調整することになる。基金を持っていない市町はすぐに影響が出てしまうので、これからも市町に助言していきたいと考えている。
- (委 員) ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減るようなご質問だったと思うが、それにも増して国保の支出が減る。
例えば、コロナの治療をしている病院でも、病床自体を全部閉鎖して収入が減っている。また、コロナの影響としては、国保はもっと黒字になるのではないかとこの思う。そうすると、一時的なコロナの影響で収入支出がかなり狂うので、交付金が前年度から急に増えたり減ったりすることの調整の方が必要じゃないかと思う。
- (事 務 局) ・ 新型コロナウイルス感染症の影響については、県もまだ受診控えのデータしか見えていない。低くなった診療費に関する国からの負担金や前期高齢者交付金など、これまでと違う動きはなかなか想定

できないところだが、皆様のご意見を伺いながら、来年度以降の納付金算定や財政運営について、検討していきたい。

(委 員) ・ 1人当たりの診療費について、70歳以上の方の医療費が1人60万円ということだが、どういうものに使われているのか。

(委 員) ・ 70歳以上の方が年に60万円ということは、月に5万円くらいになるかと思う。

外来にかかってお薬を出してもらっている方もいれば、入院して手術を受ける方もいる。その中に手術費用が入ってくるし、その後の治療も入ってくる。それらを全部平均すると、70歳以上では月に約5万円かかっていることになる。

議題4 その他

特になし

「以上」